

みなさん、おはようございます。令和2年度も今日で終わり。2か月間の臨時休校からのスタートも、今日がゴールの日となりました。どうです？どんな1年だったかな？特に、初めての小学校だった1年生のみなさん、おもしろかったかな？

さて、実は昨日の夜、君たちも知っているあの人と電話でしゃべったんですが、そのあと、こんな音声を送られてきました。ちょっとかけてみますね。

(CDをかける。音楽。)

ん？ この曲は…。そう、あの人は！

(秋津さんの話)

みなさん、おはようございます。お久しぶり。秋津耿介(あきつこうすけ)です。

今日、3月24日が修了式だと聞いて、取り急ぎ、声のお便りを送りました。

昨日は卒業式だったそうですね。とってもいい卒業式だったと聞きました。6年生のみなさんは、もう卒業してしまったので、もう少し早く、この声を届けたらよかったと後悔しています。

さて、8月の終わりに藤城小学校にお邪魔してから、7か月になります。みなさんが届けてくれたスーパーマーケットの店長さんへのメッセージ、地域でも話題になりました。あんな温かさに満ちたメッセージは、ちょっとないなあ。今でも、ことあるごとに店長さんと話をしています。みなさんの透き通ったものの見方、感じ方は、私たち大人を元気にしてくれました。何が大切なのかを気づかせてくれました。あらためて、感謝の気持ちを伝えます。ありがとう。

あれ以来、私たち大人は、もちろん、子どもたちも含めてですが、コロナ禍のなかにあっても、とっても生き生きと毎日を過ごしています。今できることを、確実にやる。コロナのせいにして、すぐに「無理！」と言ってあきらめてしまうのではなく、どうやればできるのかを考えるようになりました。できない理由なんて、いくらでも創ることができる。逆に、できる方法を考えると、心がワクワクする。どんどん気持ちが明るくなる。そんな人の輪が広がって、今、私が住んでいるこの街は、とってもみんなが明るい。人と人が支え合っている。一人でできないことは声を上げて、みんなに手伝ってもらう。つい先日も、コロナの陽性者が2人出たんですが、普通にみんなでその人の応援をするんです。あっ、そう。この街では、そうですね、11月頃からでしょうか。陽性になったことを隠さなくなりました。う～ん、なんていったらいいかな。困ったことが起こったら、ちゃんと声を上げるっていうか…。陽性となると、入院や自宅待機で、仕事を休まなきゃならないじゃないですか。そんなときに、周りで、できる人が、できることをお手伝いする。だって、いちばん困っているのはその人なんですから。いちばん困っている人に合わせる、っていえばいいのかなあ。とにかく、みんなに平等にするのではなく、困っている人をこそ、みんなで支援する。いうなれば、「不平等の平等」みたいなものが、あたりまえの街になりました。

こんな街に生まれ変わったきっかけは、藤城小学校のみなさんでした。本当にありがとう。ありがとうございました。加藤先生にお願いして、大切な修了式に、この声をみなさんに届けてもらうことにしました。このご縁に、感謝しています。それではお元気で。みなさんと教職員のみなさんが、なおいっそう生き生きと過ごされることを祈っています。さようなら。

こんなふうに、君たちの真剣な思い、本気の思いは、人を元気にするんですね。藤城のみんなは、ほんと、すごいなあと、嬉しく、幸せな気持ちになりました。臨時休校明けの6月頃のことを思い出すと、みんな、この1年で大きく成長したなあと、しみじみ思います。ん？あまり成長していないって！？ そんなふうに自分のことを思ってるの？じゃあ、ひとつ、私の家で起こったことを紹介しましょう。

みんなも知っているように、私は奈良に住んでいます。鹿さんがいる奈良公園の割と近く。みなさんには信じられないでしょうが、あたりまえのように、鹿が来ます。パンジーなんて、植えると、すぐにやって来て食べられてしまいます。

以前、梅の苗木を花壇に植えました。まあ、順調に、というか、葉っぱを広げて成長していました。夏のある朝、花壇の花とともに、その梅の木の葉っぱも全てなくなっていたんです。そう、鹿が食べちゃった。ちゃんとお印だけは残してね。黒い、つやつやしたチョコボールのようなフン…。隙間（すきま）から入ってきたんですね。やられました。

その後、どれだけ待っても、梅の木からは葉っぱが出てきません。秋が過ぎ、冬となりました。小さな苗木でしたが、もう枯れちゃったのかなと、いちばん上の枝を持つと、ポキッと折れちゃう。ああ、生きていない。枯れたんだ、と悲しくなりました。引き抜いて捨てようと思ったんですが、万が一、生きているかもと思い、家の北側に隅（すみ）に植えかえておきました。ほったらかしにしていたのですが、どうでしょう。翌年の春、何と下の方から新しい葉っぱと枝が伸びてきました。生きていたんです。その次の年は、いくつかの花をつけました。今では2メートル以上に枝を広げています。

葉っぱを食べられたあと、目に見える地上の梅の木には何の変化もなかった。しかし、地面の下ではこの梅の木の根っこが、少しずつ根の先を伸ばして、水分や栄養分を吸収して成長していたんですね。

君たち私たち人間も同じです。先ほど「成長していない」って思った人、ぜったいにそんなことはありません。生きている限り、必ず成長しています。だいじょうぶ。だから今日は、1年間の節目の今日は、成長できた自分を褒（ほ）めてください。そして、4月からの新しい学年を、あたりまえにスタートさせてください。特に今、私の目の前にいる5年生のみなさん。藤城小学校の「顔」となります。気負いすぎる必要はありませんが、みなさんにとってやりがいのある、みんながおもしろいと思える藤城小学校づくりを、引っぱってってください。秋津さんの街のように、人と人々が支え合う、居心地のいい、元気な藤城小学校にしていきましょう。これで話を終わります。